

# 「コーポレートエグゼクティブ検定 — 経営の視座を学ぶ」を完全無料で全ての企業人に公開！

CFO、CHRO、CLOが語る「経営の判断基準・価値観・失敗と学び」をAIが教材に。

一般社団法人日本CFO協会・日本CHRO協会・日本CLO協会（以下、3協会）は、共同運営するオンラインコミュニティ「Corporate Executive Forum（CEF）」において、「ラーニング機能」を新たに追加し、生成AIを活用して開発した検定講座をリリースしたことをお知らせします。

3協会では10年以上の協会活動を通じて、国内トップクラスのCFO・CHRO・CLOによる100以上の講演録・インタビュー記事を蓄積してきました。これらのアーカイブには、教科書には載らない「経営者の判断基準」「価値観」「失敗と学び」が詰まっています。

このアーカイブに生成AIが向き合い、経営のエッセンスを抽出。試験問題と解説というかたちに変換したのが、今回の「コーポレートエグゼクティブ検定 — 経営の視座を学ぶ」です。

[検索](#)[ホーム](#) [グループ](#) [ご利用方法](#) [活用のヒント](#) [ラーニング](#)

## コーポレートエグゼクティブ検定—経営の視座を学ぶ

ステータス: 進捗中 5% 所要時間: 1時間40分 登録日: 2026/01/25 バッジ: 🏆 ユーザー: 👤👤👤

### 学習内容

#### 人材・組織・サクセッション\*

🕒 31分

0%

#### UNIT1-1\*

クイズ 5 min

0%

開始

#### UNIT1-2\*

クイズ 5 min

0%

開始

#### UNIT1-3\*

クイズ 5 min

0%

開始

#### UNIT1-4\*

クイズ 5 min

0%

開始

#### UNIT1-5\*

クイズ 5 min

0%

開始

#### UNIT1-6\*

クイズ 6 min

0%

開始

#### DX・データ・AI\*

🕒 9分

50.00%

#### ESG/サステナビリティ\*

🕒 6分

0%

[学習プランに戻る](#)[次へ >](#)

### UNIT1-1

UNIT1-1 > UNIT1-1

クイズの進捗

5/5

100%

ナビゲーション

1. 予測困難な時代において、戦略内容そのもので差別化することが難しくなる中、戦略の実効性を高める源泉として最も重視すべき要素はどれか。

- A. 最新のデジタル技術を駆使した、市場動向のリアルタイムな分析と戦略修正
- B. 理念を判断基準に据え、多様な個性が主体的に関わる「協働」の仕組み
- C. 現場の混乱を最小限に抑えるための、本社主導による一貫したルールの徹底
- D. 人的資本の価値をすべて定量化し、進捗を厳格に管理する評価システムの導入

2. パーパス実現を加速させる組織変革において、従来の「現有戦力に基づく組織作り」から脱却するための設計順序はどうあるべきか。

- A. 市場環境に即した戦略やビジョンを先行して描き、それを実現するために必要な組織像を定義する。
- B. 現状の組織文化と社員のスキルセットを詳細に分析し、実行可能な範囲で戦略を段階的に構築する。
- C. 部門間の連携を強化するための共通言語を策定し、既存組織の枠組みの中で最適な人員配置を行う。
- D. 社員の自律的なキャリア形成を最優先に考え、個人の希望に合わせた柔軟な組織ユニットを構成する。

経営領域には様々な教育プログラムが存在しますが、その多くは縦割りの専門知識の習得にとどまっています。会計・財務、税務、法務、知財、労務、人事戦略などの専門知識は身につけても、「部門を超えた判断ができない」「経営との視座のギャップが埋まらない」という構造的な課題は、知識量で解決できるものではありません。

専門知識がAIに代替される時代だからこそ、今必要なのは「経営者はなぜそう判断したのか」を追体験できる学び、すなわち、部門最適の知識ではなく「コーポレート全体・経営者」の視点に立った考え方・判断力です。3協会はこの課題に応える枠組みとして、ラーニング機能および検定講座を用意しました。

## ラーニング機能のご紹介

ラーニング機能は、「完全無料のコーポレートビジネススクール（オンライン）」として、順次講座を追加していきます。併設するコミュニティ上で、議論や意見交換を合わせて行うことができます。

### 【主な機能】

- すべてオンライン・完全無料
- 習得度の可視化：学習の進捗・習熟度をダッシュボードで確認
- スマホ対応：隙間時間を活用したモバイル学習
- コミュニティ連携：CEF上での議論・交流機能との統合

### 【対象者】

コーポレート系スタッフ全般（業種・規模不問）

会計・財務、税務、法務、知財、労務、人事戦略等

## 「コーポレートエグゼクティブ検定 — 経営の視座を学ぶ」のご紹介

### 【特徴とコンセプト】

- 1) CFO、CHRO、CLO の生の声：講演録・インタビュー記事10年分のアーカイブ
- 2) AIによる教材化：経営のエッセンスを抽出し試験問題と解説に変換

知識中心ではなく判断力中心、部門最適ではなく全体最適のマネジメント教育。CXOの経験・感性・価値判断をすべての企業人が無料で学ぶことができます。

## 問題と解説例)

**リーダーにとって重要な要素である「心」を鍛え、困難を乗り越える力を身につけるために、最も本質的であるとされる経験はどれか。**

- A. 専門的な研修にポジティブな姿勢で参加し、幅広い知識や深い専門性を習得することで、論理的な思考基盤を固める。
- B. 優秀なメンターから指導を受け、他人の助けを借りながら効率的に困難を回避するスキルを若いうちから磨く。
- C. 人生における絶体絶命の局面で、他人の助けを借りるのではなく、自分であがいて脱出する経験を積み重ねる。 正解
- D. 常に「無難」な道を選択し、大きな失敗や挫折を避けることで、精神的な安定を保ちながら着実に実績を積み上げる。

### <解説>

出典元では、リーダーにとって「地獄を見る」ような困難な局面で、自分自身であがいて脱出する経験が人を育てる重要な要素であると述べられている。苦難があるからこそ、それを乗り越える力（練達）が生まれ、希望へとつながるという考え方が示されている。

一方で、選択肢AやBのような、知識の習得や他者のサポート活用は、スキルアップの手段として一般的に推奨される。しかし、出典元では「心」は教わって身につくものではなく、自らの力で逆境を突破する過程でこそ鍛えられると強調されている。

この背景には、難が有ることを「有り難い」と捉え、逃げずに正面突破を繰り返すことでしか得られない、リーダーとしての「肚の座り」を重視する哲学がある。

(出典：『CFOの心得』)

## 【受講方法】

1. 日本CFO協会WEBサイト (<https://www.cfo.jp/>) で「マイアカウント」を取得  
新規会員登録：[https://www.cfo.jp/MyAccount2/My\\_start/My\\_start.php](https://www.cfo.jp/MyAccount2/My_start/My_start.php)
2. 「マイアカウント」取得後、マイページを訪問 (<https://www.cfo.jp/MyAccount2/index.php>)
3. 「コミュニティサイトに登録する」バナーよりコミュニティサイトへ参加
4. コミュニティサイト内のメニューから「ラーニング」を選択し、「バッジ・学習プランを探す」から受講科目を選択し学習を開始

「完全無料のコーポレートビジネススクール（オンライン）」では、今後順次、講座を開発・追加をしてまいります。ぜひ、ご期待ください。

## 「Corporate Executive Forum (CEF)」について

日本CFO協会・CHRO協会・CLO協会の3協会が共同運営するオンラインコミュニティサイト。CFO・CHRO・CLOをはじめとするCXOおよびコーポレートスタッフが、経営課題の情報交換・学習・交流を行うプラットフォームとして運営されています。

今回のラーニング機能追加により、知識習得から実践的な議論まで一貫して提供できる総合的な学習・コミュニティ基盤へと進化します。

---

一般社団法人日本CFO協会のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/125489](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/125489)